

▲11月20日(日)第23回ふくしま駅伝が行われ、鏡石町チームは見事町の部6位入賞を果たしました。写真は、チーム最年長で23大会、全てに出場中のアンカー諸橋健司さん(39)



◎ 広報

かがみこ

2011年

12

No.610

特集

- ◆町人事行政状況について 2p
- ◆一小校舎改築検討委員会提言 4p
- ◆ふくしま駅伝 12p

鏡石町立第一小学校 改築に係る提言書

▲震災前の第一小学校校舎

▲プレハブ造りの仮設校舎、一刻も早い本校舎の建設が望まれます

11月10日(木)鏡石町立第一小学校校舎改築検討委員会から、改築計画の基本的な考え方の最終報告書が遠藤町長へ提出されました。

改築検討委員会による提言書

今回の東日本大震災により大きな被害を受けた第一小学校校舎の改築に向けた基本的な考え方を検討するため、公募や関係者により構成された、「鏡石町立第一小学校改築検討委員会(林実委員長)」では、9月から4回にわたり協議を重ね、下記の4点についての提言書が遠藤町長に提出されました。

震災により大きなダメージ

第一小学校は建設から40年余りが経過しており、これまで耐震診断をはじめ、耐力度調査を実施し早期の改築に向けて検討を始める時期に来ていた矢先に今回の大震災で大きな被害に遭い、専門家の調査により「改築が妥当」との診断が下されました。そのため、子どもたちは、年度末という節目の時期に休校を余儀なくされ、新年度からは第二小学校の空き教室や構造改善センターでの授業となりました。二期からは、元の校舎の敷地へ仮設校舎が設置され、通学の不便さは解消されたも

改築場所は同じ場所を希望

の、校庭が十分に使えなかつたりするなど子どもたちの心の傷跡は大きいものになっています。



▲林検討委員長から提言書を受け取る遠藤町長

提言書では、委員会の考え方をまとめており、特に改築した小学校の建設場所については、まちづくりや安全性、費用の面なども勘案し「現在地とする」という意見となりました。

提言書を受け取った遠藤町長は「報告書を最大限考慮して一刻も早く基本設計を行いたい」と話していました。

町では、今後、提言書の内容を踏まえた上で、議会や庁内での検討委員会を開催し、早期改築に取り掛かれるよう検討を進めていく予定です。

提言書の主な内容

I 校舎建設の位置について

仮設校舎での授業という不自由な状態をできるだけ早期に解消し、子供たちに良好な教育環境の下で授業を受けさせることが急務であることから、第一小学校校舎の建設位置は「現在地とする」ことが大多数の意見でした。

また、改築の際には、既設の体育館等と効率的かつ有機的に連携するとともに、体育館は、災害時の避難所でもあることから、給食室が隣接するなど、校舎の配置に工夫した校舎建設を望む意見も多く出されました。

II 校舎主体構造・階層等について

今回の東日本大震災を経験し、児童がより安全であることを第一として、鉄筋コンクリート2階建ての校舎(校舎敷地の関係から特別教室・多目的ホール・給食室等は3階建て可)を基本として、内部には、木の温かさが感じられるよう木材を豊富に使用した校舎とするなどの意見が多出されました。

III 校舎の機能及び配置等について

地球環境に配慮した「エコ機能」を取り入れた学校であり、ユニバーサルデザイン、鉄筋コンクリートの強さと木を豊富に使った人に優しい壁と床面を設置することなどの意見が出されました。

また、地域との交流ができるような多目的スペースの設置、特別支援学級の位置の配慮や、放課後児童クラブや児童館の併設など、子育て支援対策の充実を図ること。校舎の配置についても、校庭の西側に国道4号が縦断しているため、「騒音」が心配されることから騒音対策を講じる事など環境への不安解消への意見も出されました。

IV その他

- ①校庭の一角にある「忠霊塔」を移転することで、校庭が広く利用できるため、この際、「忠霊塔を移転すべきである」との意見について、検討委員会の総意として要望する。
- ②授業参観などで駐車場が狭いため、駐車場の設置について検討してほしい。
- ③和式トイレより洋式トイレの設置を望む。
- ④緊急時の一斉メール配信のできるシステムの採用

凍結から 水道管を 守りましょう



冬になると水道が凍結しやすくなり、水道管やメーターが破裂することがあります。凍結しやすい場所には、保温材を取り付けけるなど早めの防寒対策をしましょう。

- ◆こんなところが要注意
 - 水道管がむき出しになっているところ
 - 風あたりの強いところにある水道管やメーター
 - 北向きで日の当たらないところにある水道管やメーター
 - ◆水道の凍結を防ぐには
 - 水道管や蛇口の部分に保温

◆除雪についてのお願

都市建設課では、町道に、新雪で15cm程度、圧雪で10cm程度の積雪があれば除雪を行います。

除雪作業は、町内建設業者に委託して行いますので、すべての路線を除雪することはできません。バス路線や通学

材を取り付ける。

- 水道管の水抜きをする。
- メーターボックス内の保温をする。
- ◆水道が凍って水が出ないときは
 - 自然にとけるのを待つか、凍った部分にタオルなどをかぶせ、その上からゆつくりとぬるま湯をかけながらとくしてください。
 - 急に熱湯をかけると、水道管や蛇口が破裂することがありますので注意しましょう。
 - ◆水道管が破裂したときは
 - 慌てずに水抜き栓で水を止

路を優先的に除雪いたします。なお、積雪の状況、天候などにより除雪作業の進行が変動しますのでご理解ください。特に今年は震災の影響で道路状況が不安定なため、雪道を通行する際は、十分注意して走行してください。

- また、除雪作業を円滑に行うために、皆さんには次のことにご協力ください。
- 路上駐車やのみ出し駐車、自転車やバイクなどの放置はやめてください。
- 道路にはみだしている生け



雪への 心構えを

◎問い合わせ先
都市建設課 ☎62-2116

め、町指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

- 水抜き栓のある場所は前もって確認しておいて下さい。
- メーターが破裂したときは、上下水道課にご連絡ください。
- ◎問い合わせ先
上下水道課 ☎62-2348
62-2119

垣や庭木の枝は、せん定をお願いいたします。

- 除雪作業後、家庭の入り口などに雪が残る場合もありますので残雪処理にもご協力をお願いします。

なお、県道の除雪は、須賀川土木事務所(☎75-3196)が担当しています。国道4号線は、郡山国道維持出張所(☎024-932-4486)が担当です。

鏡石町赤十字奉仕団が金色有功章を受章

日赤奉仕団員の信条

- 全ての人々の幸せを願い、陰の力となって人々に奉仕する
- 常に工夫して、人々の為により良い奉仕が出来るよう努める
- 身近な奉仕を広げ、全ての人々と手をつないで、世界の平和に尽くす

鏡石町赤十字奉仕団

11月8日、郡山ビューホテルで開催された「赤十字ボランティアのつどい」において、鏡石町赤十字奉仕団が設立20周年を迎えたことに伴い、日本赤十字社より金色有功章が贈られました。

赤十字奉仕団とは、赤十字の博愛人道の精神に基づき、明るい住みよい社会をきずきあげていくために必要な実際の事業に奉仕する団体です。奉仕団は、身近な社会のために奉仕しようとする、地域の有志の皆さんで構成されています。

鏡石町赤十字奉仕団でも、毎年、福祉バザーへの協力や健康教室の開催、また、各種募金活動やボランティア活動を行っています。特に今年度は、東日本大震災において、避難所での炊き出しへの協力を行いました。

鏡石町赤十字奉仕団では、これからも奉仕団員の信条をモットーに身近な人々のお役にたてればと仰っていました。



遠藤町長へ受章報告のため訪れた町赤十字奉仕団の鈴木輝子委員長



▲町長へ受章の報告へ訪れた滝口さん(83歳)は、今後も調査を続けていきたいと元気に語ってくれました

永年の貢献で表彰

＝統計調査員総務大臣表彰＝

11月9日(水)福島市の杉妻会館で行われた平成23年度福島県統計功労者表彰式で滝口芳信さん(成田)が総務大臣表彰を受章されました。

滝口さんは、昭和30年から通算11回の国勢調査に従事しており、その永年の貢献が認められ、今回、表彰の栄に浴されました。

滝口さんは国勢調査の他に、昭和28年から町の統計調査員として人口統計調査など数々の統計調査に従事してこれ、昨年の国勢調査でも成田区の調査にあたりました。「地元の方々の理解と協力があったからこそここまで調査に従事する事が出来ました」と述べられ、調査は人の結びつきが大事だと仰っていました。

新しい趣味にいかがでしょう

＝ダーツ入門講座＝

町老人クラブ連合会(会長 小坂三吉)では、会員の減少・高齢化対策の一環として「若手委員会(委員長 鈴木豊定)」を発足しました。その第1回目の事業として、これまでの老人クラブ事業には無かった内容を取り入れた「ダーツ入門講座」を10月29日(土)に開催しました。

大橋一雄講師(福祉ワリエーションネットワークinふくしま)から指導を受け、ダーツを体験した皆さんは「緊張してなかなか思いどおりにいかない」といつつ、「初めてやって大変楽しかった」「地域での集まりの時にぜひ皆でやりたい」と大好評でした。

委員会では、今後も料理教室やビリヤード入門講座を開催していく予定だそうです。



▲なれないダーツに四苦八苦しながら、的にあたるようになるとゲームの醍醐味にハマってしまっているようでした



▲本格的な演奏や歌の前に集まったみなさんから大きな拍手が贈られました

日ごろの成果をお披露目

＝鏡石町秋の文化祭＝

10月29日(土)・30日(日)、11月5日(土)・6日(日)町公民館で毎年恒例の秋の文化祭が行われました。

29・30日は幼児から高齢者までの書道や絵画、盆栽などの幅広い作品896作品が展示され、会場を訪れた皆さんの感嘆の声を誘っていました。

続いて11月5・6日に開催された発表会では、19の各団体から参加した約150名の皆さんの日ごろの練習の成果が披露されました。発表では、きらびやかな衣装を身にまとい、少々緊張した面持ちでステージに立った皆さんは、自慢ののどや演奏で集まった皆さんを楽しませていました。

まちの話題 フォトアルバム

延長戦を制して見事優勝

＝鏡石中学校野球部県大会優勝＝

11月3日(木)に第18回県中学校新人野球大会の決勝がいわき平球場で行われました。決勝まで勝ち進んだ鏡石中学校野球部は、無死満塁からのタイブレークで行われた延長8回にサヨナラ勝ちで優勝を果たし、福島県代表として東北大会への出場を決めました。

中学校では、大会前には校庭の表土除去のため、グラウンドが使用できない状況でしたが、町が鳥見山球場を開放し、そこで練習を行うなど、普段と違う状況でも部員が一丸となって今回の勝利を勝ち取りました。

今後も鏡中野球部の活躍が期待されます。



▲優勝旗を手に勝利を報告に来庁。訪れた選手ら(左：先崎正史選手、中：大竹哲矢選手、右：渡辺秋也選手)は力強く今後の躍進を誓いました



▲部員の皆さんは忙しい仕事の合間を縫って、訪れる人が少しでも心が安らげばと活動を実施したそうです

町に癒しの空間を

＝町商工会女性部定植ボランティア＝

町商工会女性部(仲沼登美子部長)は、11月12日(土)に鏡石駅周辺や特別養護老人ホーム鏡石ホームでパンジーや葉ボタンなど約550株の定植ボランティアを行いました。

女性部では、毎年ボランティアで定植活動を行っているそうです。

今年も部員約15名で町の玄関口である駅や特老鏡石ホームの花壇に、訪れる人々の心を癒すような花々をきれいに定植していました。

今月の健康メニュー

「無塩カレーパスタ」

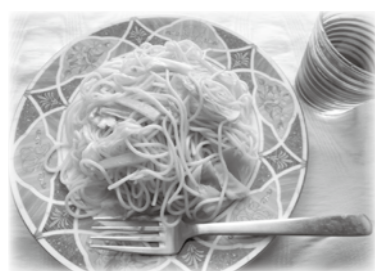
食事で血圧コントロールを

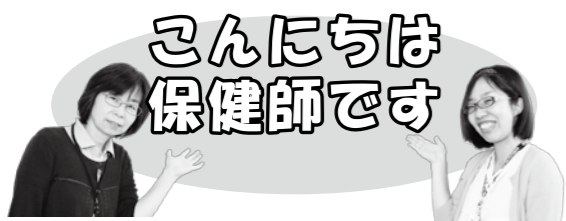
塩分を摂りすぎると体にいろいろな症状が現れます。
①喉が渇く 体内の塩分濃度を薄めるために水分が必要なので喉が渇きます。
②血圧が上がる 血液などに水分を多く取り込むため血液量が増えて血圧が高くなります。
③むくみ 水分が溜まって細胞からあふれるとむくみます。これからの季節、外気が冷たくなると血管が収縮し、血圧が上がりがやすくなります。食事での塩分を控え、生活習慣病を予防しましょう。

《作り方》
①キャベツと豚肉は一口大、人参は短冊切りにします。
②フライパンにオリーブオイルを熱し、スライスした人参と具材を炒めます。
③パスタは塩なしで茹で、具材と合わせて炒めます。
④カレー粉と黒こしょうで味付けします。

《健康な成人の1日の食塩摂取量》
男性 10g未満
女性 8g未満

《材料》 2人分
●パスタ 2人前 ●キャベツ 2枚 ●人参 40g ●豚肉 50g ●にんにく 1片 ●黒こしょう 適宜 ●オリーブオイル 大さじ1 ●カレー粉 小さじ1





肺炎球菌ワクチンで 高齢者の肺炎予防

～70歳以上の方は
無料でワクチン接種を受けられます～

肺炎は日本人の死亡率の第4位です。75歳を超えてから肺炎による死亡率は男女ともに急激に増加します。肺炎の約半数が肺炎球菌によるものといわれています。肺炎球菌による肺炎を予防するには、予防接種が有効です。(約80%は予防できると考えられています。)

肺炎球菌ワクチンは、通常5年程度有効と考えられています。

なお、再接種については、接種部位が腫れるなどの副反応が強く出ることから、前回接種から十分な間隔をあける必要があります。(特に、5年以内に再接種すると、副反応が起きやすいことが報告されています)

◆**対象者** 福島県内に住所を有する方で、70歳以上の方。

(震災時に福島県に住所を有していた方を含む平成24年3月31日までに70歳以上になる方。ただし一部市町村にお住まいの方は除きます)

◆**費用** 無料(日本赤十字社の支援活動)

◆**期間** 平成24年3月31日まで(平成23年度のみ)の助成です)ただし、接種予定数(約19万人分)に達し次第終了いたします。

接種できる医療機関は下記にお問い合わせください。

◆**問合せ先** 健康福祉課 ☎62-2115

広告

つらい つらい
誰にも話せない
借金の悩み…

ご相談ください
秘密は厳守
いたします

司法書士法人 あおば事務所

福島事務所: TEL024-533-0243 福島市南中央3丁目7-2
須賀川事務所: TEL0248-72-7057 須賀川市岡東町177

ま 鏡石町の期待の星 ちのホープ

今月は、家族で環境に配慮したコメ栽培を行う和田守央さんにお話を伺いました。

お名前
和田守央さん(26)

お勤め先
自宅コメ農家

業種 農業



Q: 農業を継ごうと思ったきっかけは?

昔から両親を見ていて、なんとなく継ごうとは思っていましたが、学生の時にスーパーの米と自宅の米を食べ比べたときに、こんなにうまい米を親父たちは作っていたのかと感激したのがきっかけといえそうです。

Q: 仕事で大変なことは?

現在就農3年目ですが、機械の扱いに苦労する部分があり、注意を受ける事もあります。なので、迷惑をかけている分、収穫期のみすり時期には、3時には作業を始められるように頑張っています。

Q: 水を大切にしている農法を教えてください

水の入れ替えを一度しかやらずに代かきをやっています。そうすると、田んぼに引き込む水の節約にもなりますし、周りの環境にもいいんです。それに作業効率も上がるんですよ。

Q: 仕事の合間には何をしていますか?

最近ゴルフを独学で始めました。家のすぐ近くの練習場で打ちっぱなしに何度か行っています。ボールがうまく飛ぶと気持ちいいですね。

Q: これから先どんな農家を目指していますか?

まだ、漠然としかイメージできていませんが、将来はコメ栽培だけでなく、米粉の活用や自家栽培の野菜なども使って加工業もやってみたいと思っています。

このコーナーにご協力いただける方を募集します。職場のホープをご紹介ください。
問合せ先: 町総務課 ☎62-2111

広告

所得申告の時期が近くなりました。今から準備!
☆農家、商店の経営者、法人、年金受給者の方々の記帳及び決算書作成代行を承ります。
☆農地など土地名義変更、相続、遺言、登記手続、借金返済の悩み…などなどご相談ください。

須藤勝行政事務所

(行政書士) 須藤 勝(元 町役場職員)
(住 所) 鏡石町不時沼294
(TEL) 62-3381



▲実家が1小のすぐそばという北原さんのご厚意で今回の企画が進められました

11月4日(金)町立第一小学校校体育館で、童謡「さつちゃん」や「いぬのおまわりさん」などの作曲を手がけ、日本を代表する作曲家大中原さんとソプラノ歌手北原聖子さんから鏡石の子どもたちのために歌が贈られました。
大中原さんの奥様北原さんは一小の卒業生で、当初は音楽鑑賞会を予定していたそうです。その後、大震災が発生し、現地を訪れた大中原さんは、プレハブ校舎で一生懸命勉強する子供たちを見て歌を贈ることにしたそうです。

作曲家 大中原さんから 鏡石の子どもたちへ 歌の贈り物



▲大中原さん(右)、詩人の山岸千代栄さん(左)のお二人が10数回の推敲を重ね、町の子どものために作られました

この歌は、震災や原発で大変な思いをしている子供たちに、未来はきっと素晴らしい

鏡石の子どもたち

作曲 大中原 作詞 山岸 千代栄

(各句の頭文字をつなげるともう一つのメッセージが)

たのしいときも
くるしいときも
くれないでチャレンジ
だれぞくらにはげまされ
くやしさをなしたみりこえて
やりとげにひびきあうウタ
つかりとどげようありがとう
いつまでも明日を信じて歌おう
かがやくえがお
かんばるなま
みあげればあおぞら
いあせあふれる鏡石
のびと僕たち私たち
このむすびあうウタ
こどもとどげようありがとう
も一度明日を信じて歌おう

飲む前に必ず確保 ハンドルキーパー

～年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動～

運動期間 平成23年12月10日～平成24年1月7日

この時期は、交通量が増大し、また飲酒する機会も増える季節です。町の関係団体では、交通安全を呼びかけ、悲惨な交通事故0を目指しています。

◎飲酒運転の根絶



ハンドルキーパー

運動の重点

◎すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



◎夕暮れ時と夜間の交通事故防止



町交通安全対策協議会、交通安全協会、交通安全母の会では、期間中、上記3点を運動の重点に、年末年始の事故が多発する時期に、町民の皆さんが安心して過ごせるよう、各種運動を展開していきます。
運動では、須賀川警察署と連携し、飲酒運転の根絶を各飲食店や町民へ呼びかけたり、シートベルトの着用や夕暮れ時、夜間の事故防止を呼びかけていく予定です。
また、県内全域で高齢者の死亡事故が多発しています。特に夕暮れ時から夜間にかけて事故が発生しています。外出時には、車から発見されやすい服装や反射材を活用しましょう。町では、歩行者用の夜光反射材を無料で配布していますのでご利用ください。
◎**問い合わせ先**
総務課 ☎62-2111

町の部 6位入賞!

大会結果記録

5時間35分38

総合成績 19位

町の部 6位



おつかれさま鏡石町選手団



第23回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)は11月20日(日)、白河市総合運動公園陸上競技場から福島市の県庁前までの16区間96・5キロのコースで繰り広げられました。

鏡石町チームは、1区で町の部の先頭争いを演じるなど、好調を維持、昨年を上回る、町の部6位入賞を果たしました。

今年のおくしま駅伝を巡っては、原発事故の影響などから開催を危ぶむ声も聞かれました。しかし、大会を通して福島を元気に、との思いで各被災市町村を含め49市町村が大会に参加しました。

鏡石町チームも震災以降、選手が練習できるような環境



4区 圓谷幸太選手

5区 山本竜也選手



12区 大波淳宏選手



10区 井上寿弥選手

11区 正木静香選手

自衛隊で活躍する選手たちの思い

今大会では、町出身で自衛隊に勤務する諸橋健司さん、今泉宏さん、星伸宏さん、井上寿弥さん、斎藤一樹さんから5名が「ふるさと選手」としてチームに参加していただきました。

自衛隊の皆さんは、大震災以降、原発周辺での行方不明者捜索活動、また、福島新潟豪雨災害においても、被災地で復旧作業に従事するなど、国民のための活動に従事されてきました。被災地の一番悲惨な姿を目の当たりにし、心身ともに疲



がんばれ! 鏡石町

▲鳥見山陸上競技場の中継所にはチームを応援する横断幕、各地で選手たちにあたたかい応援が寄せられました

このような状況の中で、周りの皆さんの協力により、大会参加へ向けて練習を続けることが出来ました。チームは、町みんなの気持ちを背負いたスキを繋ぐことで、恩返しをしたいと、一丸となってレースに臨みました。

中学生からシニア選手、また大会に合わせて帰郷してくれた社会人や大学生、みんなが力を合わせて目標に向かって



13区 星伸宏選手

て走るその姿は、これからの復興に向けて、町のみんなに勇気と元気を与えてくれたのではないかと思います。

弊しているにもかかわらず、町のために力になれればと、業務の合間を縫って大会に参加していただきました。

町から離れたところにおいても町を思う気持ちは変わらないという自衛隊の皆さんの気持ちは、タスキに込められていたのではないのでしょうか。



1区 柳沼志帆選手



◎広報 **かがみいし**

平成23年12月号 No.610

発行/福島県鏡石町役場
〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町不時沼345番地
電話/0248(62)2111(代表)
URL/http://www.town.kagamiishi.fukushima.jp/
編集/総務課 印刷/(有)円谷印刷